

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No.135



2001. 4

- シリーズ“!” 図書館で何ができる? ●大学生活のスタートは図書館から ●本館見取り図
- 分館模様替えのお知らせ ●図書館の動き ●附属図書館利用セミナーのお知らせ

シリーズ“!” 第4回 図書館で何ができる?

静岡大学附属図書館によろこそ! 新入生のために簡単な図書館案内をします。

《静岡本館》

正面玄関から入館ゲートを通じた所が4階メインフロア(貸出カウンタ・参考カウンタ
検索端末などがある場所)となります。

このフロアに並べられている資料は、参考図書(辞書 事典 年鑑 白書 地図 書誌 索引など)・
雑誌・新聞です。

一般開架図書は階段を上った5階フロアに約10万冊並べてあります。

このほか書庫の中に約60万冊の本があります。

《浜松分館》

正面玄関から入館ゲートを通じ1階が一般開架図書のフロア、2階フロアには雑誌 国際放
送視聴コーナー SCS メディアルームなどがあります。尚、参考図書は両フロアに並べてあり
ます。

★ 資料を探すには??

- ・ 静大の蔵書を探すにはOPAC(オンライン目録)を使用してください。
- 《本館》 1986年以前の図書については目録カードを調べてください。
- 《浜松分館》1989年以前の図書についてはカウンタ前の目録カードを調べてください。
- ・ 全国大学図書館等が所蔵している図書・雑誌を探せます。-----NACSIS WebCat

★ 論文や記事を探すには??

- ・ 雑誌記事索引により雑誌論文を検索できます。
- ・ DNA(インターネットを通じて1984年から当日までの新聞記事全文)を見る事ができます。

★ 本の貸出は??

開架の図書は、このABC(自動図書貸出装置)を使って借りてください。

画面の指示に従って操作してください。

開架図書の貸出、貸出期間延長は、従来どおり貸出カウンタで受付けます。



退館時貸出手続をしていない図書を持ち出そう
とするとブックディテクションシステムが作動
しブザーが鳴りますので、手続は忘れないでね!

(自動図書貸出装置)

★ 新聞・雑誌は見る事が出来るの??

・新聞コーナーでは主要日刊紙が見れます。また古いものは縮刷版マイクロ版
CD-ROMなどをそろえてあります。

・学生用に選定された雑誌が約1年分は手にとって見る事が出来、古いものは書庫に並
べてあります。浜松分館においては2階フロアにて自由に閲覧できます。

また、新刊雑誌を除いて貸出にも応じています。

★ 国際放送もみれる??

《本館》CNN・衛星放送・ハイビジョン
ミュージックフリーク・放送大学

《浜松分館》CNN・BBC ワールド
CSNI ムービー・放送大学

が視聴できます。



★ 自由に使えるパソコンは??

・利用者用パソコン(本館49台・分館16台)が設置してあります。

インターネット検索 OPAC 検索 CD-ROM 検索にご利用ください

・館内には情報コンセントが多数設置され、自分のパソコンを自由にインターネット
などに接続する事ができます。



この他わからない事は気楽に
参考調査カウンタ《本館》
サービスカウンタ《分館》に
お尋ね下さい

大学生活のスタートは図書館から

白石 光雄

新入生のみなさん入学おめでとうございます。特に学部生のみなさんは、21世紀最初の年の大学入学です。とても印象深い年として後々の思い出に残ることと思います。

附属図書館では、入学早々のガイダンスでも図書館紹介をしていますが、この他新入生セミナーの一コマとして附属図書館利用セミナーを実施しています。このセミナーは、図書館を効率よく利用するために最新の利用方法を体得することをねらいとして担当教官からの参加希望というかたちで昨年度から試行実施しています。詳しい内容については、この号の8頁をご覧ください。もし、受講出来なかった方にもセミナー終了後、同程度の内容でライブラリー・オリエンテーションを開催し補完していますので安心してください。

今、大学図書館は情報化社会の進展により大きく変わっています。所蔵している膨大な学術図書や雑誌の目録はデータベース化されており、パソコン検索の修得は必修とされるほど日常的に使われています。大学の授業やレポート作成においても、自分の大学だけの蔵書検索では、必要な情報が得られないことが間々あります。全国の大学図書館等が所蔵している学外機関への蔵書検索も「NACSIS-WebCat」にアクセスし簡単な操作で所蔵館を探すことができます。セミナーでは、これらを一年生の学期はじめに体得していただくものです。必要な文献であれば文献複写依頼ができ、必要な図書資料であれば相互貸借依頼もできます。これらのサービスは本学附属図書館のホームページにアクセスしていただければサービス内容や各機関へのリンク（接続）もしていますので利用できます。この他、CD-ROM化された学術資料、電子ジャーナルや電子化された二次資料の利用をはじめ、インターネットを介した国内・外の学術機関への学術資料検索等のアクセスをセミナーやオリエンテーションを通して皆さんには、是非、体験していただきたいと願っています。

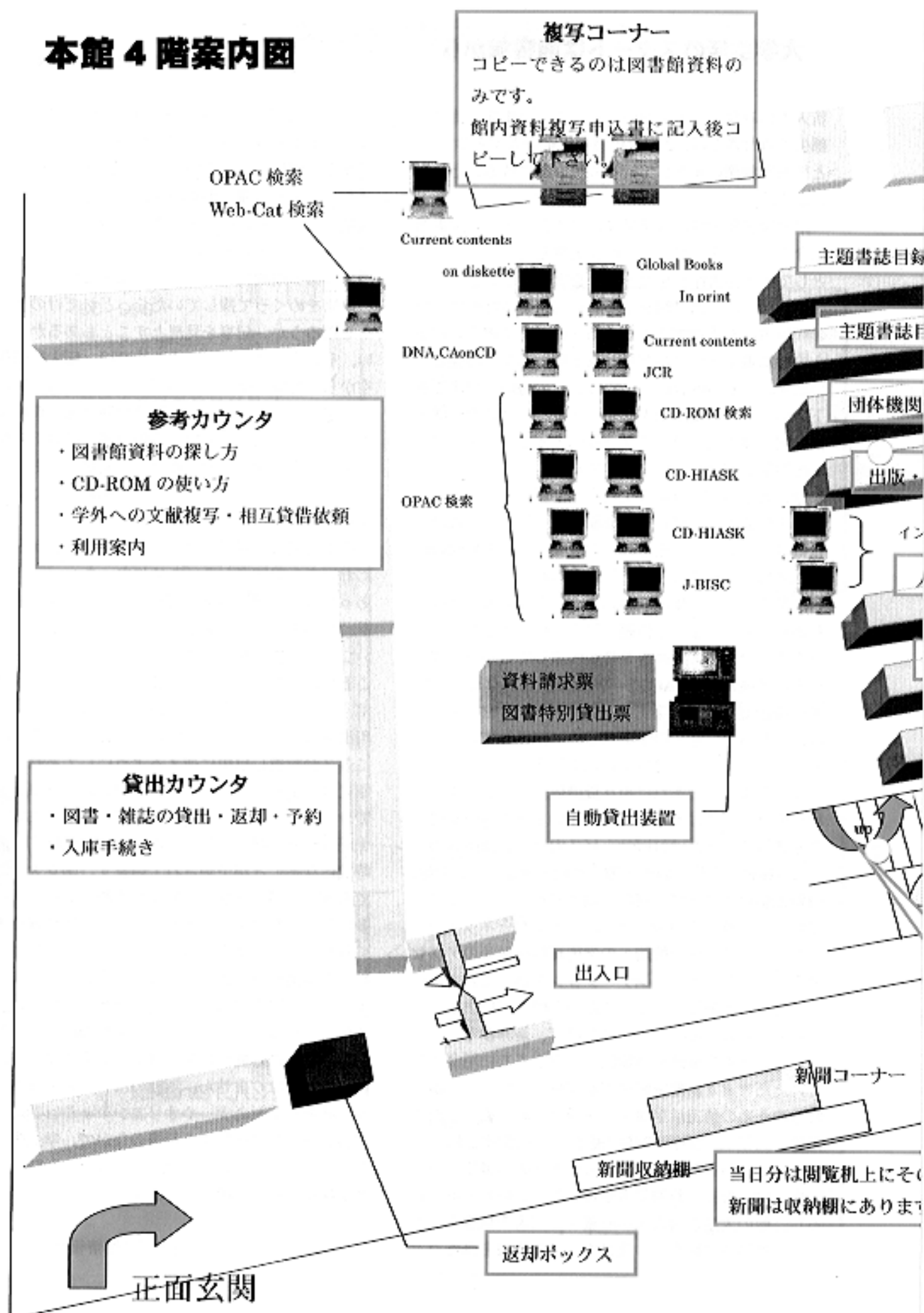
さて、新入生のみなさんにむけて、是非参考にさせていただきたく先輩達の経験談の一例をここに紹介させていただきます。附属図書館が実施している「卒論・修論のための情報活用講座」を受けられた教育学部幼児教育三年生（当時）の柴田優子さんの感想です。「パソコンによる資料検索で、自分の大学の図書館にある図書だけでなく、新聞記事や雑誌などの情報も得られるし、他の大学の図書館が所蔵する図書の状態や、さらには世界中の図書館の蔵書すべての情報を得ること

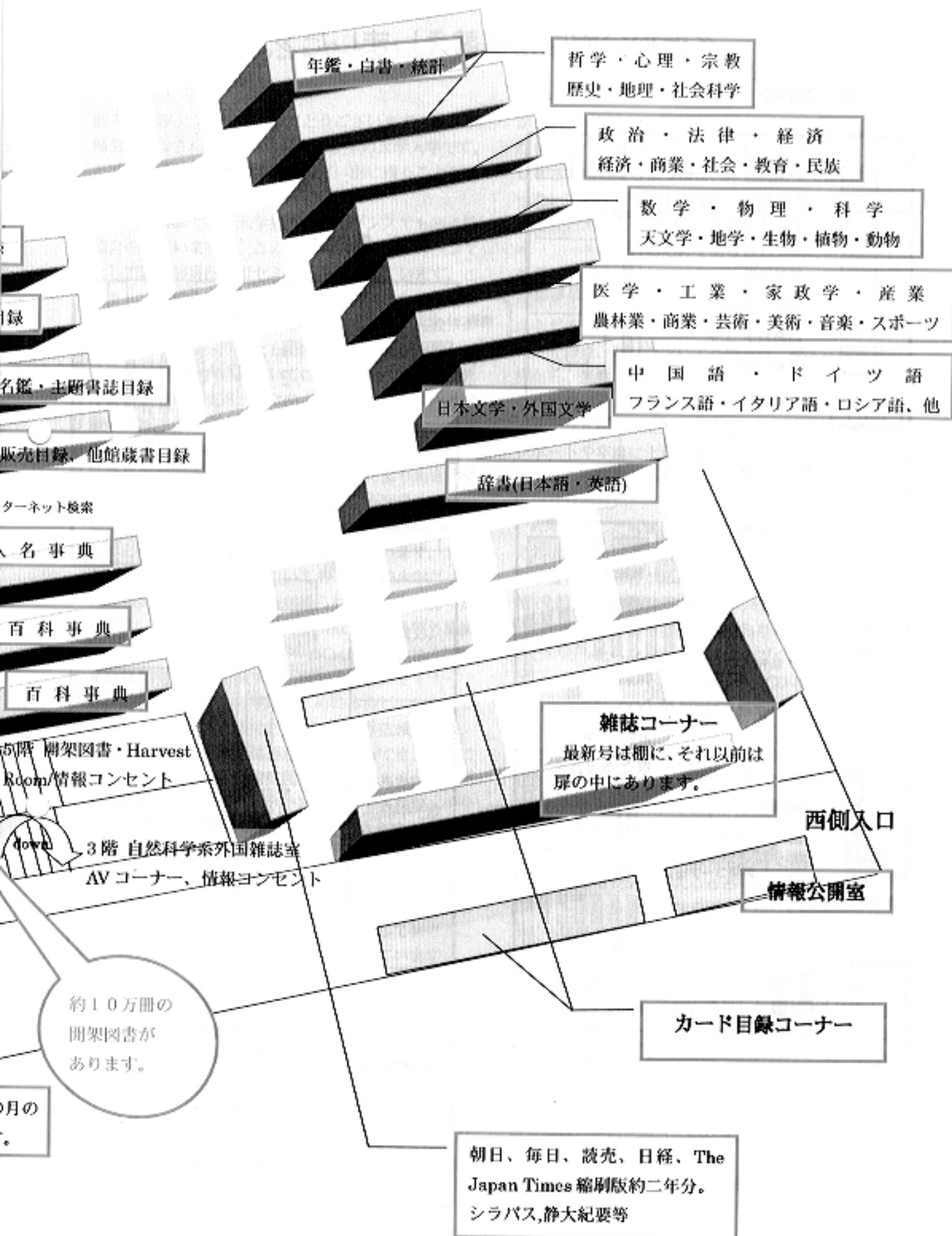
が、いとも簡単に出来ることを知りとても驚いた。・・・なぜ一年生の時から知っていなかったのだろうと、悔しささえ感じてしまうほど、本当に簡単で便利だと思った。・・・新聞記事索引も、一日分でさえ相当な情報量に思えるものを、何年間分もの膨大な量の記事を、キーワードを入れるだけであっという間に拾い出す。例えばある期間にわたるある情報を得たい時、一枚一枚新聞をめくって探していたら、どれだけの時間がかかるだろうか。記事を見落とすこともあるかもしれない。その点、パソコンによる検索は、膨大な情報量の中から、無駄・落ちのない選別をあっという間にやる事ができる。」柴田さんは「今回学んだ資料検索の方法をフル活用して、出来る限り多くの資料を集め、レポートや卒論に十分に役立て、満足いくものを仕上げたい」と結んでいます。（図書館通信No134・2000年12月号掲載）

昨年実施した附属図書館セミナーのアンケート回答においても参加者から「ためになった」、「有意義であった」との回答が多く寄せられています。附属図書館では、担当の参考調査係をはじめ図書館スタッフは、いつでも、皆さんをお待ちしております。分からないことがあったらなんなりと質問してください。本館には、インターネット、OPAC検索、CD-ROM検索が利用出来るパソコンが4階に16台、5階第二閲覧室に33台設置し自由に使えるようにしてあります。（分館には、16台があります。）自分のパソコンを接続できる情報コンセントも多数用意してあります。21世紀は、社会経済や科学技術が急速に発展する激動の時代になることが予想されています。国立大学においても各大学が大学独自の適切な役割を認識し、社会の多様な期待や要請に応えるとともに「個性輝く大学づくり」ができるよう、教育研究をはじめ大学運営においても整備充実を図るべく大きく変わろうとしています。むしろ図書館もです。高度情報化社会といわれる時代に生きる私たちは、溢れる情報の洪水に溺れることなく自分に必要な情報を選択して獲得する技術を身につけねばなりません。無駄のない合理的な方法を学ぶ一助としてセミナーやオリエンテーションに参加し、図書館を十分に活用する習慣のなかで、学生生活をエンジョイして下さい。みなさんのスタート時からの意欲を期待したいと願っています。

（附属図書館情報サービス課長）

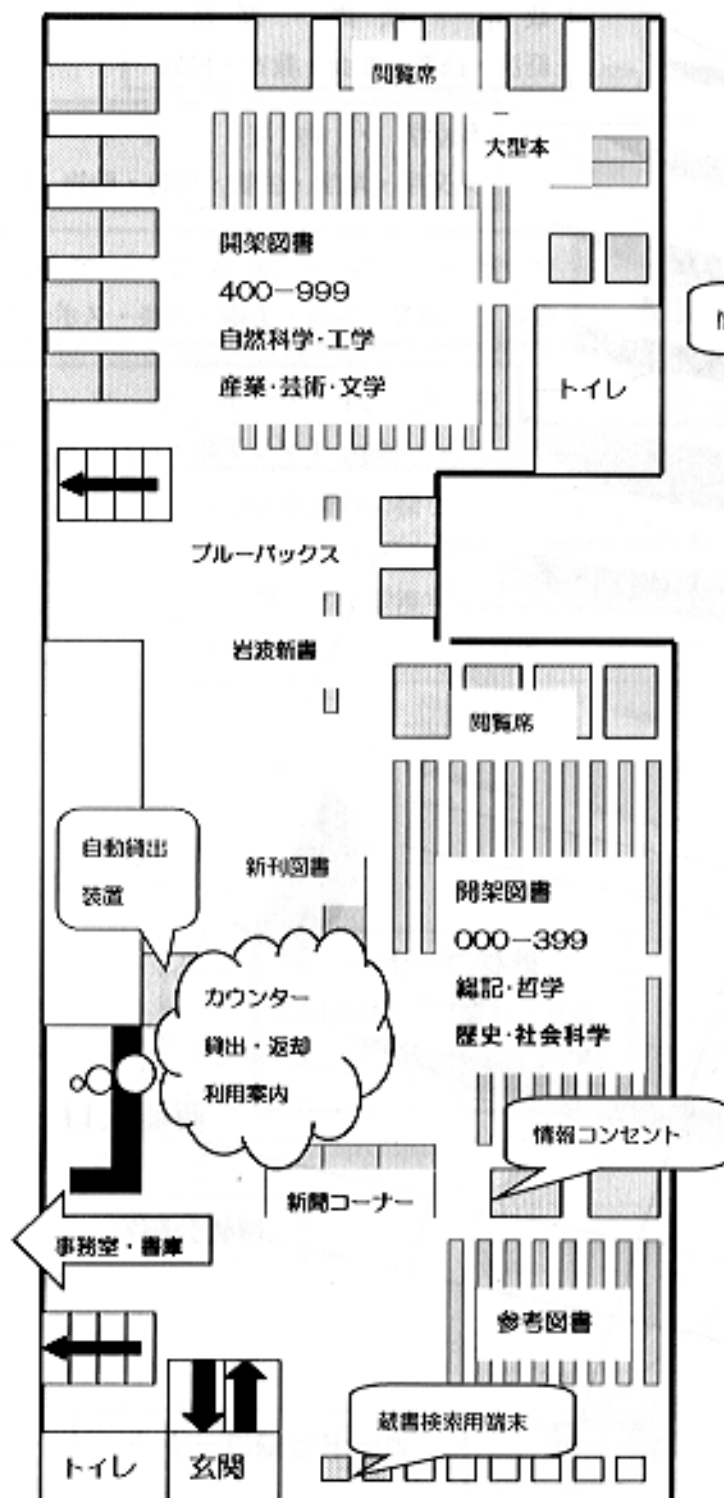
本館 4 階案内図



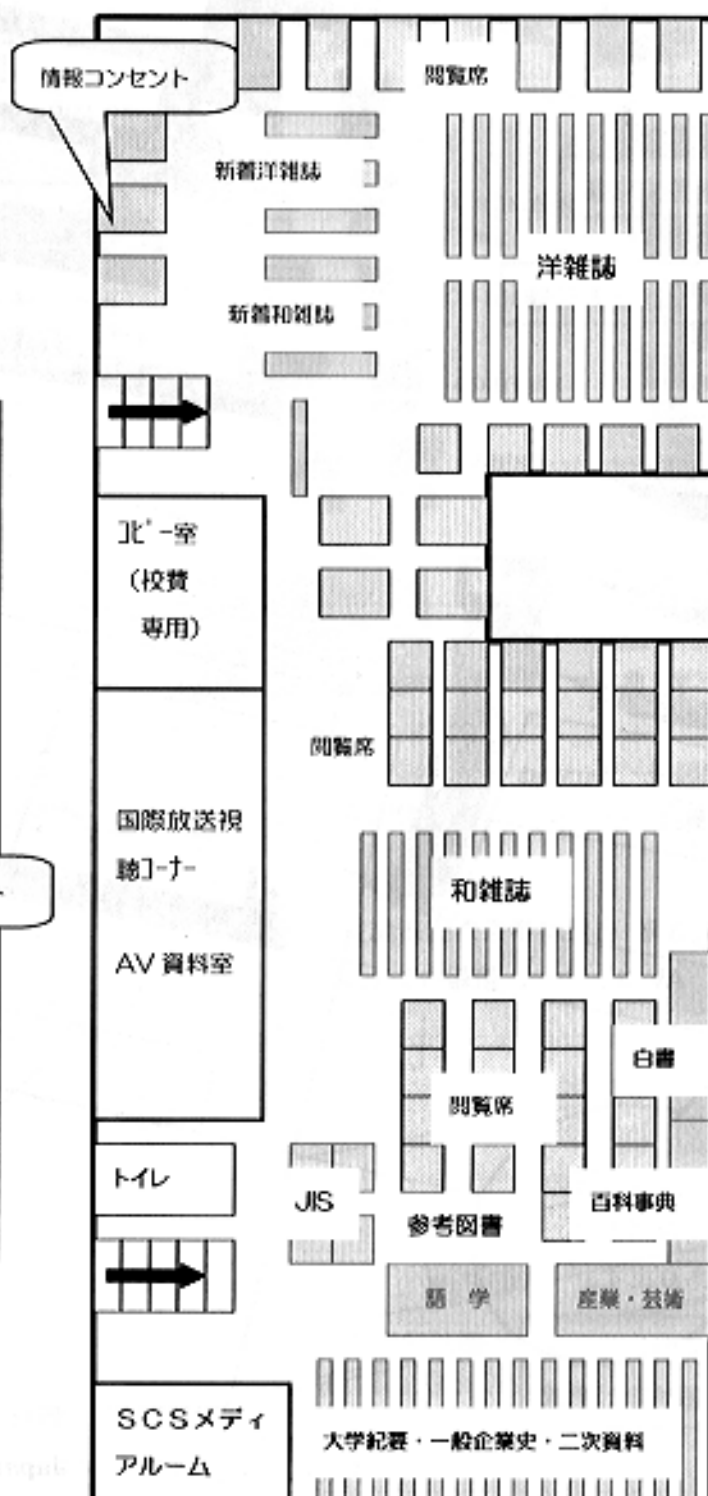


《浜松分館は模様替えしました》

1階 閲覧室



2階 閲覧室



浜松分館では昨年の冬期休業期間に閲覧室の模様替えを行いました。

・ 図書の書架を移動

以前は二階にあった人文系図書を一階の玄関側のフロアに移して、一階に開架図書をまとめました。それに伴い参考図書は玄関近くの検索用パソコンの側に移しました。参考図書の中でも辞書、百科事典等は二階に移し、書架の移動で空いたスペースに配置した閲覧席で利用できるようにしました。

・ 閲覧席を増やした

学生数の増加に伴って不足しがちだった閲覧席を書架の移動と共にできたスペースを活用して増やしました。新たに一階の南側と二階のコピー室前に4人掛けの机を7つ一階にキャレルデスクを8つ配置しました。

・ 雑誌も移動

和雑誌の書架を移動しました。また、洋雑誌はバックナンバーの配架順をアルファベット順にきちんと直し、棚の見出しも修正しました。

前頁の配置図を参考にして是非ご自分の眼で確かめてください。そして分館を活用してください。お待ちしております！！

図書館の動き

◆ 会議

平成12年度第3回附属図書館委員会

(平成12年12月7日(木) 於：静岡大学)

議題

1. 平成12年度学生用図書購入費の配分について
2. 平成12年度外国雑誌購入費の配分について
3. 指定図書の不用手続きについて
4. 平成13年度図書館業務用電子計算機システム更新について
5. 「静岡大学の現状と課題」の作成について
6. その他

平成12年度国立大学附属図書館事務部長会議

(平成13年1月25日(木) 於：徳島大学)

事務部長が出席。

協議事項として第10次定員削減下に於ける大学図書館のあり方について他6件の事項について協議し、活発な意見交換がなされた。

平成12年度第4回附属図書館委員会

(平成13年2月6日(火) 於：静岡大学)

議題

1. 概算要求事項について
2. 附属図書館関連規則の改正について
3. その他

◆ 図書館講演会

(平成12年12月4日(月) 於：静岡大学)

静岡県大学図書館協議会と共催で、講演会「大学における電子図書館化」を開催した。講師は筑波大学附属図書館小西和信情報システム課長並びに大阪市立大学学術情報総合センター北克一教授。県内図書館関係者約60名が参加し、講演後は活発な意見交換及び討議がなされた。

◆ 人事異動

平成12年 9月30日<辞職>

丸山 紀久子 (管理運用係)

平成12年12月31日<辞職>

松葉 眞洋 (運用係)

平成12年10月 1日<採用>

田島 喜代美 (管理運用係)

平成13年 1月 1日<採用>

武田 純一 (運用係)

『 附属図書館利用セミナー 』 実施のお知らせ

利用セミナーを通じてより図書館に親しみを持たせ、気楽に図書館を利用できるように
また、図書館の効率的な利用を促進し今後の教育研究活動の糸口となるお手伝いをいたします。

なお、図書館セミナーを受講されない新入生及び学部編入生についてはセミナー後半に
ライブラリー・オリエンテーションを開催する予定です。

詳細情報は図書館ホームページと掲示板にてご案内する予定です。

附属図書館本館

期間 平成13年4月17日(火)～6月29日(金)

- 内容
1. 図書館利用の説明
 2. パソコン利用による図書館蔵書の調べ方
 3. インターネットによる情報収集の仕方
 4. 情報収集により得られた資料の書庫内探索実習

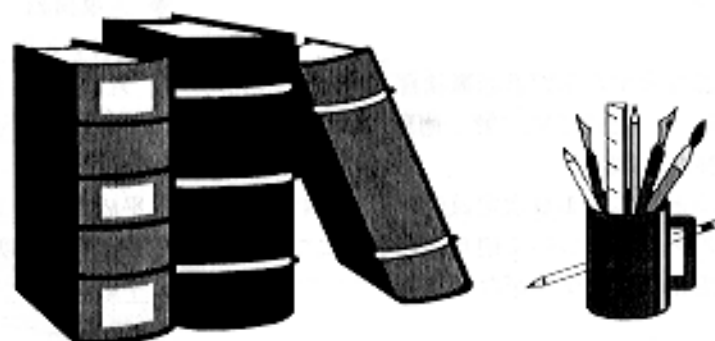
場所 図書館5階第2閲覧室(ハーベストルーム)

附属図書館浜松分館

期間 平成13年4月～5月

- 内容
1. 図書館の使い方
 2. OPACを使った蔵書の検索
 3. 図書館ホームページの利用
 4. 館内ツアー

場所 附属図書館浜松分館視聴覚室



静岡大学附属図書館報「図書館通信」 第135号 (平成13年4月1日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 〒422-8529 静岡市大谷836 Tel.054-238-4475 Fax.054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/home.html>